



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 アプリックスIPホールディングス株式会社
コード番号 3727 URL <http://www.aplix-ip.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 郡山 龍

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 鈴木 智也

TEL 050-3786-1715

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,514	△53.2	△878	—	△841	—	△742	—
25年12月期第2四半期	3,235	△16.1	△1,175	—	△1,109	—	△1,109	—

(注)包括利益 26年12月期第2四半期 △777百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 △953百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△59.21	—
25年12月期第2四半期	△88.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年12月期第2四半期	8,344	—	6,821	—	81.7	—
25年12月期	9,720	—	7,556	—	78.2	—

(参考)自己資本 26年12月期第2四半期 6,821百万円 25年12月期 7,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年12月期の業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。
詳細は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	12,553,930 株	25年12月期	12,553,930 株
26年12月期2Q	13,495 株	25年12月期	10,477 株
26年12月期2Q	12,541,811 株	25年12月期2Q	12,548,012 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

近年の移動体通信市場は、国内外におけるスマートフォンの急速な普及等大きな変革期にあります。巨額の費用を投じて開発された質の高いOSやミドルウェア等のソフトウェア基盤技術が無償で配布されるようになり、また、規制が厳しく一般からの参入が難しかった通信事業者のコンテンツマーケットから、誰もが手軽にコンテンツを提供できるオープンマーケットへの移行が進み、従来のミドルウェアやカジュアルコンテンツの収益性を維持することが困難な市場環境となっております。

よって、当社グループでは、「M2M (Machine to Machine)」をキーワードに、従来から培ってきた通信や制御の技術を競争力の源にできるよう、当連結会計年度以降の収益性の改善と売上高の増加に向けて大きな事業構造の変革を進めております。また、当該変革の一環として、当社グループの経営資源をM2M関連事業に集中投入できる組織体制の構築のため、当第1四半期連結会計期間において、アニメーションやカジュアルコンテンツの事業に従事していた連結子会社2社の全株式を譲渡しております。

なお、当社グループで推進しております事業の再編成等に伴い、当第1四半期連結会計期間より従来の報告セグメントの名称を変更し、「ソフトウェア基盤技術事業」を「テクノロジー事業」、「コンテンツ・サービス等事業」を「出版映像等事業」としております。本セグメント名称の変更がセグメント情報に与える影響はありません。

(a) テクノロジー事業

従来のソフトウェア基盤技術を中心とした事業を縮小し、M2M関連事業で収益を伸ばす体制へと大きな変革を進めております。当該事業分野に資源を集中すべく、当第1四半期連結会計期間において、これまでの主力製品であった「JBlend」、「emblend」等の既存ソフトウェア資産の一括ライセンス等を行っております。

M2M関連技術の事業分野においては、当社が開発したBeaconがO2O (Online to Offline) や位置情報等の幅広いサービスの新しいソリューションとして注目されており、飲食業界、アパレル・ファッション業界、流通業界、不動産業界等での実用化をはじめとして、多くの引き合いと高い関心を集めております。

5月には、商用利用向けBeaconの必須機能である位置測位の精度向上と端末の負荷を軽減する通信方式と、不正アクセス防止や成りすまし防止等の電子認証、位置情報やURLのデータストレージ、及びセンサーデータの取得等ができる通信方式を、それぞれ専用の通信モジュールを使って同時に実現する「MyBeacon Proシリーズ」の販売を開始するとともに、iPhone、iPad、iPod touchでもNFCと同様のサービスを簡単に実現可能なタッチ式Beacon「MyBeacon touch」を開発いたしました。

様々な業界においてこれらの新製品の実用化が進む中、6月には、「MyBeacon Pro MB004」及び「MyBeacon touch」が人気ハンバーガー店「the 3rd Burger」に採用され、店舗内やレジ横等で導入されました。同店舗では、当社のBeacon製品の採用とアプリケーションとの連携により、店舗スタッフへのお客様の来店通知、お客様へのオススメ情報や特典情報等のプッシュ通知、お客様自身のスマートフォンからのメニューオーダー、アプリケーション内のスタンプ帳へのスタンプ付与が可能となりました。

また、当社が開発したBluetooth Smart (Bluetooth Low Energy) モジュールが株式会社タカラトミーの新商品「マイタッチスマート LINE FRIENDS」に採用されました。同商品は、当社の技術を採用したことにより、玩具をスマートフォンにつなげることを実現いたしました。これにより、友達同士が商品本体を接触させてタッチ通信だけでなく、Bluetoothの通信距離範囲にいる友達や家族等とメッセージを送受信することや、スタンプを交換することもできるようになり、遊びの幅が一段と広がることを可能にしました。

当社では、M2M関連技術の事業分野を当社グループの新たな成長ドライバーと位置づけ、高いソフトウェア開発技術力と先進性を基に、当社の優位性を発揮できるテクノロジー事業において、お客様のご要望に応じて、いち早く優れた技術を提供するとともに、安心・安全で誰もが簡単に利用できるBeaconのハードウェアや、セキュリティ等のインフラサービスを提供していくことにより、本事業の収益拡大を目指してまいります。

(b) 出版映像等事業

当第2四半期連結累計期間におけるコミック作品につきましては、新刊29作品、重版29作品を刊行いたしました。特に当第2四半期連結会計期間にテレビアニメ放送されたロボットコミック作品「ブレイクブレイド」が好調で、売上に大きく貢献しております。児童書関連作品につきましては、「第60回青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書に選定された絵本作品「ミルクこぼしちゃだめよ！」の受注と出荷が順調に進んでおり、当第2四半期連結累計期間における児童書関連事業分野の収益改善を実現しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のテクノロジー事業の売上高は858,676千円（前第2四半期連結累計期間の売上高1,068,922千円）、出版映像等事業の売上高は655,703千円（前第2四半期連結累計期間の売上高2,166,548千円）となりました。営業損益につきましては、テクノロジー事業の営業損失は276,399千円（前第2四

半期連結累計期間の営業損失193,995千円)、出版映像等事業の営業損失は51,361千円(前第2四半期連結累計期間の営業損失414,380千円)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間においてセグメント損失の調整額が551,203千円(前第2四半期連結累計期間のセグメント損失の調整額566,739千円)が発生しております。セグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,514,380千円(前第2四半期連結累計期間の売上高3,235,470千円)となりました。

営業損益につきましては、878,963千円の営業損失(前第2四半期連結累計期間の営業損失1,175,115千円)となりました。

経常損益につきましては、投資事業組合運用益の計上等により、841,493千円の経常損失(前第2四半期連結累計期間の経常損失1,109,666千円)となりました。

四半期純損益につきましては、742,651千円の四半期純損失(前第2四半期連結累計期間の四半期純損失1,109,667千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して1,375,915千円減少し8,344,840千円となりました。これは、売掛金が486,708千円、ソフトウェアが468,627千円、ソフトウェア仮勘定が351,172千円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して641,041千円減少し1,522,853千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が46,656千円、未払金が62,562千円、前受金が131,267千円、事業整理損失引当金が218,467千円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して734,873千円減少し6,821,986千円となりました。これは、主に四半期純損失を742,651千円計上したことに伴い利益剰余金が減少したこと等によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率につきましては、前連結会計年度末と比較して3.5ポイント増加し、81.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月6日公表の「平成26年12月期通期連結業績予想に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は平成26年度の通期業績予想の開示を控えさせていただいております。今後の開示有無等につきましては、未定とさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,195,343	2,033,481
受取手形及び売掛金	1,141,677	654,969
有価証券	2,721,756	3,298,275
商品及び製品	375,328	432,908
仕掛品	123,180	13,472
その他	215,639	260,643
貸倒引当金	△18,278	△67,749
流動資産合計	6,754,648	6,626,002
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	210,607	178,743
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	82,379	84,070
土地	46,000	—
有形固定資産合計	338,986	262,813
無形固定資産		
のれん	187,530	133,950
ソフトウェア	1,021,585	552,957
ソフトウェア仮勘定	417,579	66,407
その他	117,936	48,470
無形固定資産合計	1,744,631	801,785
投資その他の資産		
投資有価証券	99,741	85,782
長期貸付金	—	735,000
その他	782,747	568,456
貸倒引当金	—	△735,000
投資その他の資産合計	882,488	654,238
固定資産合計	2,966,106	1,718,837
資産合計	9,720,755	8,344,840

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	254,006	207,349
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	37,980	35,420
未払金	327,686	265,124
未払法人税等	21,429	38,848
前受金	456,950	325,682
賞与引当金	47,712	38,405
返品調整引当金	38,610	43,501
事業整理損失引当金	218,467	—
その他	532,304	356,795
流動負債合計	2,035,148	1,411,126
固定負債		
長期借入金	80,575	61,575
退職給付引当金	20,243	22,770
その他	27,929	27,381
固定負債合計	128,747	111,727
負債合計	2,163,895	1,522,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,264,700	13,264,700
利益剰余金	△5,565,031	△6,307,682
自己株式	△16,022	△21,572
株主資本合計	7,683,646	6,935,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56,473	△70,704
為替換算調整勘定	△22,636	△42,977
その他の包括利益累計額合計	△79,109	△113,682
新株予約権	△47,677	223
純資産合計	7,556,859	6,821,986
負債純資産合計	9,720,755	8,344,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,235,470	1,514,380
売上原価	2,942,114	1,180,221
売上総利益	293,356	334,158
販売費及び一般管理費	1,468,472	1,213,122
営業損失(△)	△1,175,115	△878,963
営業外収益		
受取利息	6,303	4,878
為替差益	63,392	—
投資事業組合運用益	1,459	39,521
その他	5,032	2,747
営業外収益合計	76,186	47,148
営業外費用		
支払利息	2,127	1,889
支払手数料	1,100	600
為替差損	—	7,133
貸倒損失	7,500	—
その他	10	54
営業外費用合計	10,737	9,677
経常損失(△)	△1,109,666	△841,493
特別利益		
投資有価証券売却益	3,159	—
事業再編益	—	128,892
その他	9	—
特別利益合計	3,169	128,892
特別損失		
固定資産除却損	9,362	53
その他	1,500	—
特別損失合計	10,862	53
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,117,359	△712,654
法人税、住民税及び事業税	17,574	27,285
法人税等調整額	△25,266	2,711
法人税等合計	△7,692	29,996
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,109,667	△742,651
四半期純損失(△)	△1,109,667	△742,651

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,109,667	△742,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,976	△14,231
繰延ヘッジ損益	△31,190	—
為替換算調整勘定	73,280	△20,341
その他の包括利益合計	156,067	△34,572
四半期包括利益	△953,600	△777,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△953,600	△777,223

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。